

## ヨルダン溪谷地域高付加価値型農業普及改善プロジェクト

(実施期間：2011年9月～47ヵ月、担当業務：副総括/営農普及/組織、畜産など)

### 業務背景

パレスチナにおいては2007年から2010年まで、研究と普及の連携により効果的な農業普及システムを構築することを目的として「持続的農業技術確立のための普及システム強化プロジェクト (ASAP)」が実施された。「ヨルダン溪谷地域高付加価値型農業普及改善プロジェクト (EVAP)」は ASAP の後継プロジェクトとして、ASAP で導入された技術をより広範に普及させることや、農家の市場対応能力の強化によって農家の収益性を向上させることを目的として、2011年から2015年まで実施された。

### 業務概要

本プロジェクトではグループ普及の改善を目指しつつ、選定した農家グループにおいて普及員と農家を巻き込んだ形で各種候補技術の実証活動を行った。その際、技術導入による収益性向上効果は、クロープバジェットを通して評価するという考え方を徹底させた。さらに、市場志向型農業の一層の促進に向けて、EVAP 普及パッケージに則った普及活動を展開した。EVAP 普及パッケージはマーケティング研修やビジネスフォーラムあるいはアクションプランの作成といった一連のプロセスを通して、参加者自身が収益性向上を図ることを目指すものである。現在では、EVAP 普及パッケージがパレスチナ農業省の普及戦略の中に位置づけられており、今後、全国に展開する方針が示されている。

### 担当事項

- プロジェクト全体の運営監理、外部委託や機材調達に係る各種事務手続き、報告書の作成等
- 対象農民グループの選定とベースラン調査の実施ならびに調査結果の解析支援
- SHEP アプローチに基づいた普及パッケージに沿った普及活動の実践
- 普及パッケージに含まれる農業ビジネス関係者フォーラムならびに関連研修活動の計画・実施
- 新品種導入、節水灌漑に関連した普及活動の実践ならびに普及員への指導・助言
- コンポスト製造、サイレージ製造、乳製品製造、人工授精等の実証活動に係る普及員への指導・助言



灌漑施設の診断



接木苗の生産と利用



堆肥の製造と利用



サイレージの製造と利用